

事業所名

シード都島教室

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

19 日

法人（事業所）理念		Growing seeds for the future											
支援方針		社会生活において自分で判断して行動する力をつけるために『ルールや指示を正確に理解して、場面に応じた言動、行動できる力』を習得できるように支援します。											
営業時間		月～金	12	時	30	分	19	時	30	分	送迎実施の有無	あり	なし
		土祝	9	時	00	分	16	時	00	分			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握</li> <li>身の回りの生活動作（着替え・片付け等）の自立支援を行い、日常生活スキルを高める</li> <li>活動前後に身支度や清潔管理を自分で行き、習慣化できるように言葉掛けを行う</li> <li>健康管理の意識づけや体調の変化に気づけるよう促す</li> </ul>											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の活動や運動遊びを通じて、正しい姿勢を身につけ、維持できるよう支援する</li> <li>走る、跳ぶ、投げるなど運動遊びを通じて基本的な身体能力を育てる</li> <li>指先を使った遊びを取り入れ、微細運動の発達を促す</li> <li>感覚遊びを通じて、適切な感覚刺激の調整を支援する</li> </ul>											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なルール理解や集団活動での説明を聞く力を育てる</li> <li>視覚支援等を活用して運動で使用する言語や動作を認知し、望ましい行動が取れるよう支援する</li> <li>集中力や注意力を高める遊びや活動を取り入れる</li> </ul>											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員が使用する言葉を通じて、言葉の習得や語彙を豊かにする</li> <li>自分の気持ちや考えを簡単な言葉で表現できるよう支援する</li> <li>ジェスチャーや表情を活用し、非言語的コミュニケーションの理解を促す</li> </ul>											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや集団活動を通じて、他者との関わり方を学ぶ</li> <li>順番や挨拶、マナーなど基本的な社会ルールを身につける</li> <li>他者への共感性を育むような活動を取り入れる</li> </ul>											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の活動内容や子どもの成長を保護者に伝え、連携を深める</li> <li>家庭での支援方法の共有や、定期的な面談の実施</li> <li>家庭内での子育てに関する相談支援</li> </ul>					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園や保育園、小学校へのスムーズな移行支援を行う</li> <li>幼稚園や保育園、関連事業所との情報共有を行う</li> </ul>				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>関連事業所に様子を報告する等、密な連携を図る</li> <li>近隣の事業所との交流を図る</li> <li>部会等に参加し、情報共有を行う</li> </ul>					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な施設内外の研修を行い、支援の専門性を高める</li> <li>法廷研修（コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染症予防、人権）の実施</li> </ul>				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設で行うスクール活動を通して、地域の習い事へ参加するための力を養う</li> <li>不定期で行う季節のイベント（運動会、クリスマス会等）を企画・開催し、社会性を高める</li> </ul>											

事業所名

シード都島教室

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

19 日

法人（事業所）理念		Growing seeds for the future											
支援方針		社会生活において自分で判断して行動する力をつけるために『ルールや指示を正確に理解して、場面に応じた言動、行動できる力』を習得できるように支援します。											
営業時間		月～金	12	時	30	分	19	時	30	分	送迎実施の有無	あり	なし
		土祝	9		00	ら	16		00	で			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握</li> <li>身の回りの生活動作（着替え・片付け等）の自立支援を行い、日常生活スキルを高める</li> <li>活動前後に身支度や清潔管理を自分で行き、習慣化できるように言葉掛けを行う</li> <li>健康管理の意識づけや体調の変化に気づけるよう促す</li> </ul>											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の活動や運動遊びを通じて、正しい姿勢を身につけ、維持できるよう支援する</li> <li>走る、跳ぶ、投げるなど運動遊びを通じて基本的な身体能力を育てる</li> <li>指先を使った遊びを取り入れ、微細運動の発達を促す</li> <li>感覚遊びを通じて、適切な感覚刺激の調整を支援する</li> </ul>											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なルール理解や集団活動での説明を聞く力を育てる</li> <li>視覚支援等を活用して運動で使用する言語や動作を認知し、望ましい行動が取れるよう支援する</li> <li>集中力や注意力を高める遊びや活動を取り入れる</li> </ul>											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員が使用する言葉を通じて、言葉の習得や語彙を豊かにする</li> <li>自分の気持ちや考えを簡単な言葉で表現できるよう支援する</li> <li>ジェスチャーや表情を活用し、非言語的コミュニケーションの理解を促す</li> </ul>											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団活動や協力的な活動を取り入れ、人間関係の構築やコミュニケーション力を高める</li> <li>自己肯定感を高め、社会で自信をもって行動できるように支援する</li> <li>他者の意見を尊重し、協調性を育てる</li> </ul>											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の活動内容や子どもの成長を保護者に伝え、連携を深める</li> <li>家庭での支援方法の共有や、定期的な面談の実施</li> <li>家庭内での子育てに関する相談支援</li> </ul>					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校や高等学校、就労支援施設等へのスムーズな移行を支援</li> <li>学校や関連事業所との情報共有を行う</li> </ul>				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>関連事業所に様子を報告する等、密な連携を図る</li> <li>近隣の事業所との交流を図る</li> <li>部会等に参加し、情報共有を行う</li> </ul>					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な施設内外の研修を行い、支援の専門性を高める</li> <li>法廷研修（コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染症予防、人権）の実施</li> </ul>				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設で行うスクール活動を通して、地域の習い事へ参加するための力を養う</li> <li>不定期で行う季節のイベント（運動会、クリスマス会等）を企画・開催し、社会性を高める</li> </ul>											

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	シード都島教室			
○保護者評価実施期間	2026/1/20		～	2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2026/2/1		～	2026/2/6
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/10			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊びを取り入れた療育プログラムにより、粗大運動や感覚統合の視点から、お子様の身体の使い方や情緒の安定を促しています。広いプレイルームを活用し、身体を動かす楽しさを通じてルール理解や社会性を育む支援を行っています。	運動遊びを通じて、粗大運動や感覚統合の視点からお子様の身体の使い方や情緒の安定を促しています。広いプレイルームを活用し、サーキット運動やリズム遊びなど、楽しみながらルール理解や社会性を育めるプログラムを日替わりで実施しています。	単に体を動かすだけでなく、個々のお子様の発達段階に合わせた「スモールステップ」の目標設定をより明確にします。また、保護者様に対して、運動療育による具体的な成長(例:体幹が強くなった、着座姿勢が安定した等)を可視化してフィードバックできる体制を強化します。
2	職員間の連携が密にとれており、朝夕のミーティングで個々のお子様のその日の体調や課題を細かく共有しています。未就学児への対応経験が豊富な職員が多く、個別の特性に合わせたきめ細やかな関わりができています。	自閉スペクトラム症やADHDの特性に配慮し、活動の見通しが持ちやすいよう視覚的な構造化(スケジュールボードや絵カードの活用)を徹底しています。また、送迎時の対話を活用し、保護者様と密に連携をとることで、家庭と事業所での一貫した支援を心がけています。	職員間でのケース会議の頻度を増やし、支援方針の統一を図ります。特に、集団活動への参加が難しいお子様への個別対応の手法について、外部研修等で得た知識をチーム全体で共有し、より専門性の高い支援を提供できるよう努めます。
3	送迎時における保護者様とのコミュニケーションを重視しており、その日の活動の様子を口頭で丁寧にお伝えすることで、家庭との連携強化に努めています。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援業務に追われ、外部研修への参加や、事業所内での長時間にわたる事例検討会の時間が確保しにくい現状があります。	日々の療育提供と送迎業務に多くの時間を割く必要があり、職員全員が揃って行う長時間の研修や、外部の専門研修に参加する時間の確保が難しい現状があります。そのため、新しい支援技術や制度改正に関する情報の共有にタイムラグが生じることがあります。	短時間で集中して行える事業所内勉強会(15分～30分程度)を定例化します。また、オンライン研修(オンデマンド配信)を積極的に活用し、各自が隙間時間で受講できる環境を整えることで、シフトに影響を与えずに職員の資質向上を図ります。
2	運動プログラム中は活動量が増えるため、静かに過ごしたいお子様への環境配慮(スペースの切り分け)が、物理的な制約により不十分になる場面があります。	動療育を中心としているため、活動中は事業所内が活発な雰囲気になりやすく、静かに過ごしたいお子様や、聴覚過敏のあるお子様にとっては刺激が強すぎる場面があることが課題です。限られたスペースの中で、動と静の活動エリアを完全に分離することが物理的に困難な状況です。	パーティションや家具の配置を工夫し、視覚的な刺激を遮断できる「クールダウンエリア」の環境整備を見直します。また、活動スケジュールの中で「静かな時間」を明確に設定し、メリハリのある環境づくりを徹底することで、全てのお子様安心して過ごせるよう配慮します。
3	ペアレント・トレーニング等の保護者向け勉強会の開催頻度が少なく、個別の相談対応にとどまっている点が課題です。		

## 公表 者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 シード都島教室

公表日 2026/3/1

利用児童

数 10名

回収数 6名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0	運動療育の際、子どもたちが元よく走ると少し狭く感じることがあります。	安全確保のため、活動内容によっては2グループに分けるなど、少人数でのローテーション実施を徹底してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	0	0		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	2	1	あまり分かりません。	今後は地域のイベントなどに参加できるような機会が作れたらと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	1	0	家庭での癇癪への対応に悩んでいます。親向けの勉強会などがあれば参加したいです。	個別相談は随時行っておりますが、今後は年2回程度、保護者様向けのミニ勉強会や座談会の開催を検討いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	0	0	0	送迎時にその日の様子を詳しく教えてくれるので安心しています。	送迎時の対話は重要視しているので、今後も密な連携を継続いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0	先生たちが子供の小さな成長と一緒に喜んでくれるのが嬉しいです。	お子様の「できた！」という喜びを共有することは職員の励みにもなります。今後も寄り添った支援を心がけます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	2	2	0	他の親御さんと話す機会があまりないので、交流会があると良いと思います。	感染症対策等で見合わせておりましたが、茶話会や親子参加型イベントの開催を前向きに検討いたします。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	2	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2	1	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	2	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	2	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	運動面だけでなく、生活面でも成長を感じています。	

## 公表 発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	シード都島教室				公表日	2026/3/1
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	安全管理のため、動的な活動時はグループ分けを行い、人口密度が高くなりすぎないように調整しています。	全員で一斉に運動する際、やや手狭に感じることがあるため、プログラム構成の工夫が必要です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準以上の配置を行い、手厚い支援体制をとっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		視覚的なスケジュール提示や、道具の配置場所の明示（ラベリング）を徹底します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃・消毒に加え、怪我防止のためにマット等の安全点検を欠かさず行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		毎月の職員会議で目標設定と振り返りを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケート結果は全員で共有し、改善策を話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日のミーティングで情報を共有して、改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現状実施できていませんが、将来的には第三者委員の設置等を検討したいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	事業所内でのOJTを中心にスキルアップを図っています。	シフト調整が難しく、外部研修への参加機会が限られています。オンライン研修の活用を進める必要があります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ケース会議にて担当職員全員で意見を出し合い作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	毎朝のミーティングで、その日の支援ターゲットを確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団での運動遊びと、個別の課題学習を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	就業時、終業前にミーティングを行い確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	就業時、終業前にミーティングを行い確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	システムを導入し、実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		定期的に情報共有が行えるように担当者会議の開催を検討します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	保育所等訪問支援で訪問している先ではおこなわれています。	今後は幅を広げていくことを検討します。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回のフィードバックにて共通理解を深めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	日々の相談の中で、個別に関わり方のアドバイスを行っています。	体系的なペアレント・トレーニング等の勉強会開催はできておらず、今後の課題です。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		保護者会等の開催はできていません。保護者様からの要望もあるため、茶話会等の実施を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情解決の仕組みについて重要事項説明書に記載し、周知しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	LINEを活用し周知に努めています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		現在、地域住民を招いての行事は実施できていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		訓練がパターン化しつつあるため、予告なしの訓練を取り入れる必要があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、机上訓練を含めた研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時に詳細に聞き取りを行い、緊急時対応マニュアルを作成しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	6	食事を提供していません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定し、職員会議で定期的に周知しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	重要事項説明書等で説明しています。	避難場所などの具体的な情報について、再度お便り等で周知徹底を図ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を年1回以上実施し、チェックリストで自己点検を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束適正化マニュアルを整備し、委員会を開催しています。		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	シード都島教室			
○保護者評価実施期間	2026/1/20		～	2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2026/2/1		～	2026/2/6
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/10			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通じて、基礎体力の向上だけでなく、チームスポーツ等におけるルールの理解や、集団活動での役割遂行(リーダーシップ・フォロワーシップ)を学ぶ機会を提供しています。学校生活や部活動等での適応力向上につなげる支援を行っています。	運動遊びを通じて、基礎体力の向上だけでなく、チームスポーツ等におけるルールの理解や、集団活動での役割遂行(リーダーシップ・フォロワーシップ)を学ぶ機会を提供しています。学校生活とは異なるサードプレイスとして、お子様がのびのびと自己表現できる環境作りを徹底しています。	単に体を動かすだけでなく、個々のお子様の発達段階に合わせた「スモールステップ」の目標設定をより明確にします。また、保護者様に対して、運動療育による具体的な成長(例:体幹が強くなった、着座姿勢が安定した等)を可視化してフィードバックできる体制を強化します。
2	学校終了後の限られた時間の中で、宿題や課題に取り組む時間と、思い切り体を動かす時間をメリハリをつけて設定しています。放課後の居場所として、心身のリフレッシュと学習習慣の定着の両立を図っています。	来所後すぐにスケジュールを確認し、宿題や課題に取り組む時間と、思い切り体を動かす時間を明確に分けています。また、静かに過ごしたいお子様への配慮として、パーティション等で空間を区切る工夫を行っています。	職員間でのケース会議の頻度を増やし、支援方針の統一を図ります。特に、集団活動への参加が難しいお子様への個別対応の手法について、外部研修等で得た知識をチーム全体で共有し、より専門性の高い支援を提供できるよう努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の支援業務(特に学校へのお迎えから送迎まで)に追われ、職員全員が揃って行う長時間の研修や、外部の専門研修に参加する時間の確保が難しい現状があります。	日々の療育提供と送迎業務に多くの時間を割く必要があり、職員全員が揃って行う長時間の研修や、外部の専門研修に参加する時間の確保が難しい現状があります。そのため、新しい支援技術や制度改正に関する情報の共有にタイムラグが生じることがあります。	短時間で集中して行える事業所内勉強会(15分～30分程度)を定例化します。また、オンライン研修(オンデマンド配信)を積極的に活用し、各自が隙間時間で受講できる環境を整えることで、シフトに影響を与えずに職員の資質向上を図ります。
2	異年齢(小学生～高校生)が同じ空間で過ごすため、活動量の多い児童と、静かに学習や休憩をしたい児童とのゾーニングが課題となることがあります。	学校や放課後児童クラブ(学童)との直接的な連携が十分に取れておらず、お子様の学校での様子や課題の把握が保護者様経由の情報に依存している現状があります。	まずは保護者様の同意を得た上で、学校担任との電話連絡や情報共有シートの活用など、可能な範囲での連携体制を模索していきます。また、学校行事予定等の把握を徹底し、支援計画への反映を行っていきます。
3			

公表 利用者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 シード都島教室

公表日 2026/3/1

利用児童数 30名

回収数 20名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2	0	0		安全確保のため、活動内容によっては高学年と低学年の時間を分けるなど、工夫を徹底いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3	1	0	もう少し宿題をする環境が静かだとい と思います。	パーティションの配置を見直し、静かに過 ごせる学習エリアの環境整備を強化しま す。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	10	3	あまり聞いたことがありません。他の学 童の子とも交流できればいいですが、	感染症対策等もあり現状は少ないですが、 長期休暇中などに地域の児童館イベントへ の参加を検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	8	5	2	家での反抗期対応に悩んでいます。親向 けの勉強会などがあれば参加したいです 。	個別相談は随時行っておりますが、今後は 年2回程度、保護者様向けのミニ勉強会や 座談会の開催を検討いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	0	0	学校での様子が分からないので、事業所 から学校へ様子を聞いてもらえると助か ります。	保護者様の同意をいただいた上で、可能な 範囲で学校担任との連携・情報収集を進め てまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0	先生たちが子供の小さな成長と一緒に喜 んでくれるのが嬉しいです。	お子様の「できた！」という喜びを共有す ることは職員の励みにもなります。今後も 寄り添った支援を心がけます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の 交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	8	3	進路のことなど、同じ年頃の子を持つ親 御さんと話す機会があると嬉しいです。	茶話会や親子参加型イベントの開催を前向 きに検討し、保護者様同士の交流の場を設 けます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	2	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3	0	2	避難場所について、子供にも分かりやすく説明してほしい。	毎月の避難訓練時に、お子様向けの地図や写真を使って避難場所の周知を徹底いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	運動面だけでなく、生活面でも落ち着きが出てきたように感じます。	

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	シード都島教室				公表日	2026年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	安全管理のため、動的な活動時はグループ分けを行い、人口密度が高くなりすぎないように調整しています。	全員で一斉に運動する際、やや手狭に感じることがあるため、プログラム構成の工夫が必要です。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準以上の配置を行い、手厚い支援体制をとっています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		視覚的なスケジュール提示や、道具の配置場所の明示（ラベリング）を徹底します。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃・消毒に加え、怪我防止のためにマット等の安全点検を欠かさず行っています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		毎月の職員会議で目標設定と振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケート結果は全員で共有し、改善策を話し合っています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日のミーティングで情報を共有して、改善に繋げています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現状実施できていませんが、将来的には第三者委員の設置等を検討したいと考えています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	事業所内でのOJTを中心にスキルアップを図っています。	シフト調整が難しく、外部研修への参加機会が限られています。オンライン研修の活用を進める必要があります。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ケース会議にて担当職員全員で意見を出し合い作成しています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	毎朝のミーティングで、その日の支援ターゲットを確認しています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	6	0	集団での運動遊びと、個別の課題学習を組み合 わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	6	0	就業時、終業前にミーティングを行い確認して います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	就業時、終業前にミーティングを行い確認して います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	6	0	システムを導入し、実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があ ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があ ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があ ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があ ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		今後はこちらから連絡を取り合う必要があ ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	0	6		今後は開催できるよう検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		できる限り参加するようにします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回のフィードバックにて共通理解を深めてい ます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	日々の相談の中で、個別に関わり方のアドバイ スを行っています。	体系的なペアレント・トレーニング等の勉強会 開催はできておらず、今後の課題です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6		保護者会等の開催はできていません。保護者様からの要望もあるため、茶話会等の実施を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情解決の仕組みについて重要事項説明書に記載し、周知しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	LINEを活用し周知に努めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		現在、地域住民を招いての行事は実施できていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		訓練がパターン化しつつあるため、予告なしの訓練を取り入れる必要があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、机上訓練を含めた研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時に詳細に聞き取りを行い、緊急時対応マニュアルを作成しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	6	食事を提供していません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定し、職員会議で定期的に周知しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	重要事項説明書等で説明しています。	避難場所などの具体的な情報について、再度お便り等で周知徹底を図ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を年1回以上実施し、チェックリストで自己点検を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束適正化マニュアルを整備し、委員会を開催しています。		

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	シード都島教室		
○保護者評価実施期間	2026/1/20		2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026/2/1		2026/2/6
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026/1/20		2026/1/31
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/10		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の保育方針やクラス運営を尊重し、先生方の負担にならないよう配慮しながら、お子様が集団生活になじめるようサポートしています。	一方的な助言や指導を行うのではなく、まずは担任の先生の困りごとを丁寧に聞き取り、先生がやりやすい方法で関わられるよう、補助的な立ち位置で支援を行っています。	訪問回数を重ねる中で、お子様の変化や成長した姿を具体的に先生に伝えることで、「この関わり方で大丈夫」という自信を持っていただけるようなフィードバックを心がけます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な視点からの具体的な提案や、環境設定のアドバイスが十分にできておらず、現状確認や見守りが中心になってしまうことがあります。	訪問支援員の専門知識(応用行動分析や感覚統合等)が不足しており、現場の状況に応じた即座の判断や、具体的な解決策の提示に自信が持てない場面があることが要因です。	まずは事業所内で事例検討を行い、チーム全体で「どのような提案ができるか」を事前にシミュレーションする準備時間を確保します。また、外部研修等に参加し、コンサルテーション技術を学びます。
2	訪問終了後、先生方とゆっくり振り返りをする時間が取れず、支援の意図や成果を十分に共有できていない場合があります。	園や学校の業務が多忙であり、訪問終了時に先生の手が空いていないことが多く、簡単な挨拶程度の報告で終わってしまう現状があります。	訪問開始時に「最後に5分だけお時間をください」と事前をお願いするか、難しい場合は簡潔にまとめたメモ(フィードバックシート)をお渡しするなど、確実に情報を伝える工夫を行います。
3			

## 公表 首からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名	シード都島教室
------	---------

公表日 2026/3/1

利用児童

数 15名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	0	0	0		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5	2	1	0	行事の練習の時など、来てほしいタイミングになかなか日程が合わないことがある。	
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6	2	0	0	園での様子を見てくれるのは安心だが、具体的な改善策がもっとあると嬉しい。	現状は園の先生のサポートが中心ですが、今後はより専門的な視点からの提案ができるよう、職員研修を強化します。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	8	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	8	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	8	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	8	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	8	0	0	0		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	8	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	8	0	0	0		
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	0			
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	8	0	0	0			

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5	3	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6	0	0	2		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	0	0	0	報告書を読むと、園でどんな風に過ごしているかよく分かって安心します。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	3	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5	1	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表 訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2026/3/1
初期費用教室	利用児童数	10事業所 回収 1 事業所

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	0	0	専門用語を使わず、こちらのやり方を否定せずアドバイスをくれるので受け入れやすいです。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	0	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	0	0		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		シード都島教室		公表日 2026/3/1		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 管	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1		訪問希望が重なる時期は人員配置が厳しくなるため、調整が必要です。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	訪問後のミーティングで振り返りを行い、支援の質を向上させています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1	OJTを中心に学んでいます。	訪問支援特有のコンサルテーション技術に関する外部研修への参加機会を増やしたいです。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	事前の打ち合わせで園の意向を必ず確認しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1		客観的なデータ分析の手法を統一する必要があります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	園の保育方針やクラスの雰囲気尊重し、否定的な言動は慎んでいます。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2		専門機関からのスーパーバイズを受ける機会が不足しており、今後の課題です。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		園の行事等の都合で、十分な振り返り時間が取れない場合があるのが課題です。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	信頼関係構築を最優先に、相談しやすい雰囲気作りを心がけています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	信頼関係構築を最優先に、相談しやすい雰囲気作りを心がけています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		